

湯浅城(有田郡湯浅町青木)

湯浅城（ゆあさじょう）は、紀伊国有田郡（現在の和歌山県有田郡湯浅町青木）にあった城である。

康治2年（1143年）に湯浅宗重によって有田郡の青木山に築城された山城である。代々湯浅氏が居城した。

湯浅城は要害として知られ、文安4年（1447年）に畠山氏がこの城を三度攻めてようやく落としたとされる。

城跡には土塁、曲輪等が残る。青木山の向かいには城を模した国民宿舎（国民宿舎湯浅城）があり、4階の資料館には湯浅氏に関するものが展示されている。

2012年4月15日、地元のボランティア団体を中心となって、全国の湯浅姓70人の有志を集めてイベントを行い、城跡に湯浅宗重顕彰碑を建てた。

Wikipediaによる

